

2024年

11/2

(土) 13:00-16:30 (受付開始12:30)

入場無料

大阪国際交流センター／小ホール (定員 200名)

大阪市天王寺区上本町8-2-6

立ち直り支援においては、「支援」という非対等な関係では、当人が抱える「生きづらさ」を聴くことや知ることは、実は困難です。支援者という立場から一歩離れ、当人の「生きなおし」の場に(たまたま)居合わせた同じ「生きづらさ」を抱える同行者として、「生きなおし」の道程を共に歩む時、そこには「生きづらさ」からの解放と新たな「生きがい」が生じます。そのような関係性の中で、支援者とされる者が、それぞれの課題解消の「仲介者」や「応援者」へと変質し、各々がウェルビーイング(生きがいと、生きなおす)の担い手となります。この「生きなおし」を実現するためには、そのような関係性が構築される場(空間・時間)と、その担い手(人間・仲間)が必要とされます。この新たな「生きなおし」の関係は、従来の支援者中心の立ち直り「支援」が、当事者中心の生きなおしへの「応援」へと転換し、その活動は社会全体へのウェルビーイングを中心とした応援の輪へとさらに広がってまいります。このシンポジウムでは各々の立場から、これまでの実践をお話しいたします。

プログラム

13:00 講演

講師 法務省大阪矯正管区 日笠和彦 管区長

テーマ 「これからの更生支援を考える ～矯正施設の取組と課題」

13:50 休憩

14:00 パネルディスカッション

テーマ 「支援者からメディアエイター(仲介者)へ」

パネラー: 西田利昭氏(奈良県地域生活定着支援センター長)

緒方伸子氏(北新地クリニック放火事件被害者家族)

伊藤宏基・三宅隆之(ワンネス財団共同代表)

コーディネーター: 中島学(福山大学教授 ワンネス財団顧問)

対象

司法、矯正、更生保護、福祉関係者を中心に、生きなおしの応援に関心をお持ちの方

申し込み方法

申込みフォーム(右のQRコードを読み込み)またはFAX(裏面の申し込み書を記入の上送付してください)



お問合わせ

ワンネス財団奈良本部
(月～金 10時から17時)

0745-24-7766

後援: 法務省、大阪府、大阪市、堺市、奈良弁護士会、一般社団法人奈良県社会福祉士会(順不同)

ワンネス財団 ウェルビーイング・シンポジウム

新たな立ち直り支援への眺望

生きがいと、生きなおす



- ・千日前線・谷町線「谷町九丁目駅」10番出口 徒歩500m
- ・近鉄線「大阪上本町駅」14番出口 徒歩400m
- ・谷町線「四天王寺夕陽ヶ丘駅」1番出口 徒歩500m

参加申込書

ワンネス財団本部 あて

お申込み日	2024 年 月 日
フリガナ	
氏名	
電話番号	
メールアドレス	
都道府県	
機関・団体名・ 職業等	

FAX 0745-24-7765